

東京2020大会をジャパンプルーで彩る“隠岐の花トウテイラン”  
— マスコットガーデンにて海外原産の花々と競演 —

◆本件のポイント！

- 現在開催中の東京2020大会のマスコットガーデンを、隠岐の花トウテイランを島根大学で品種改良した‘F1 ジャパンプルー’が外国原産の花と一緒に植栽利用されている。
- トウテイラン（オオバコ科）は環境省絶滅危惧Ⅱ類（VU）指定の日本固有種。
- 島根大学ではこれまで地域資源トウテイランの遺伝資源保護と園芸利用の研究を推進。
- 臨海副都心「花と緑」のおもてなしプロジェクトでは、F1系‘ジャパンプルー’がお台場おもてなしセレクション2017入賞。

◆本件の概要

現在開催中の東京2020大会のマスコットガーデンを、隠岐の絶滅危惧植物トウテイランを島根大学で品種改良したF1系‘ジャパンプルー’が涼しげな青紫の花で彩っている。島大の研究グループではトウテイランの遺伝資源保護と園芸利用の研究を推進し、臨海副都心「花と緑」のおもてなしプロジェクトでは、‘ジャパンプルー’がお台場おもてなしセレクション2017に入賞している。猛暑の五輪を種苗業者らが出品した外国原産の花々と一緒に、隠岐の花が涼しげな青紫の花で彩っている。

◆本件に関する写真



マスコットガーデン（江東区有明）に植栽利用されているトウテイラン

（写真提供：東京港埠頭株式会社：早貸氏）

マスコットキャラクターのミライトワのテーマ色の藍色のエリアに他の花壇苗と一緒に混色植栽。

中央左下にトウテイランの青い花穂が見える。



**隠岐諸島のトウテイラン**

青紫の花穂とシルバーリーフが美しい

(写真 小林)

**◆概要内容**

現在開催中の東京 2020 大会のマスコットガーデン（東京都江東区有明 3 丁目）において、隠岐諸島に自生する絶滅危惧植物トウテイランを島根大学で品種改良した F1 系‘ジャパンプルー’が植栽利用されている。島大の研究グループでは「地域植物資源を活用した新品種育成と地域活性化」の研究の一環として、隠岐の夏から秋を代表する青紫色の花トウテイランの遺伝資源保護と花壇苗や鉢花としての園芸利用の研究を進めてきた。2016 年からは東京 2020 大会の花壇植栽おもてなし事業における臨海副都心「花と緑」のおもてなしプロジェクトに参画し、F1 系‘ジャパンプルー’がお台場おもてなしセレクション 2017 に入賞している。涼しげなジャパンプルーの花穂とシルバーリーフが美しく、猛暑や乾燥、強風や豪雨への環境耐性を備えた特徴を持つ。猛暑の五輪を種苗業者らが出品した外国原産の夏花壇用の花と一緒に、隠岐の花が涼しげな青紫の花で彩っている。

**◆本件の連絡先**

**<報道に関すること>**

島根大学 企画部企画広報課広報グループ TEL：0852-32-6603、9729

東京港埠頭株式会社公園事業部公園事業課維持管理係 早貸秀樹氏 TEL：03-3599-7462

**<研究に関すること>**

島根大学生物資源科学部 農林生産学科

教授 小林 伸雄（こばやし のぶお） TEL：0852-32-6506

**◇その他**

- Google map ストリートビューでマスコットガーデンの見学可能（期間限定 9 月 5 日まで）  
東京 2020 大会 マスコットガーデン <https://goo.gl/maps/xjETLDPutKXLMd2N8>
- お台場おもてなしセレクション実施報告書 P55：トウテイラン [000H1\\_H4 \(tptc.co.jp\)](https://www.tptc.co.jp/)

【添付資料：  あり（ 1 枚）】



東京2020大会をジャパンプルーで彩る“隠岐の花トウテイラン”  
— マスコットガーデンにて海外原産の花々と競演 —

『現在開催中の東京2020大会のマスコットガーデン（東京都江東区有明3丁目）では、隠岐諸島に自生するトウテイランを島根大学で品種改良したF1系‘ジャパンプルー’が海外原産の花壇苗と一緒に植栽利用されている。』

- ① 島大の小林らは「地域植物資源を活用した新品種育成と地域活性化」の研究課題の一環として、隠岐の夏から秋を代表する青紫色の花トウテイランに着目し、島根県農業技術センターの協力を得ながら、遺伝資源保護や花壇苗・鉢花としての園芸利用化の研究を進めてきた。
- ② トウテイラン (*Veronica ornata* Monjuschko) はオオバコ科クワガタソウ属の多年草で、島根県隠岐諸島、京都府および鳥取県にのみ分布する日本固有種。自生地開発や乱獲により個体数が急減し、環境省絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定される貴重な植物。許可のもと種子を採取し研究を展開してきた
- ③ 2016年からは東京2020大会の花壇植栽おもてなし事業における臨海副都心「花と緑」のおもてなしプロジェクトに参加。五輪開催時期に合わせた早咲きのF1系‘ジャパンプルー’を2017年に出品し、お台場おもてなしセレクション2017に入賞。
- ④ F1 ‘ジャパンプルー’ 紹介文：『東京の夏を、涼しげなジャパンプルーの花穂とシルバーリーフで彩る日本原産の花です。隠岐諸島のトウテイランの改良品種で、猛暑や乾燥、強風や豪雨への環境耐性を備え、多様な気象条件下でのおもてなしに対応可能です。』
- ⑤ 「花と緑」のおもてなしプロジェクトでは種苗業者らが出展した外国原産の夏花壇用の花が中心である一方、日本原産の花は貴重な存在。島根県隠岐の島の花が海外の選手や報道関係者らを歓迎している。
- ⑥ 島根大学川津キャンパスでは、生物資源科学部の屋上植栽や図書館周辺の花壇においてトウテイランの実用化の植栽試験を行っている。今年からは松江市内の花壇植栽（寺町の歩道花壇）も開始。これから秋にかけて開花期を迎える。



F1 ‘ジャパンプルー’



島根大学川津キャンパスの植栽試験